

(様式3)

## 令和4年度 指定管理業務の評価表

### 1 施設概要

施設名	障害児放課後等支援施設 フレンズ	所在地	伊勢市御園町長屋2767
指定管理者名	認定NPO法人ときわ会 藍ちゃんの家	指定期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
設置目的	障がい児または障がい者の日中活動の場の提供		
業務内容	【伊勢市障害児放課後等支援施設フレンズの管理業務を行う】 ・伊勢市内に住所を有し、小中学校、高等学校または特別支援学校に在学する障がい児、または障がい者に対し、日中活動の場を提供するとともに、家族等の介護負担の軽減を図る。 ・日中活動の場を提供するなかで、他の障がい児、障がい者、支援員等と交流することで、障がい児の健全育成に資するよう努める。		
施設概要	ハートプラザみその1階 (療育室、静養室、便所 延床面積:112.5㎡)		
職員体制	管理者1名、支援員10名、運転手3名		
施設所管課名	高齢・障がい福祉課		

### 2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	比較(C-B)	
事業収支	収入	指定管理料	5,603,000	5,603,000	6,223,400	620,400
		利用料金	5,868,670	8,295,250	8,792,800	497,550
		その他	101,819	184,247	445,548	261,301
		計(a)	11,573,489	14,082,497	15,461,748	1,379,251
	支出	人件費	9,287,531	10,635,840	9,999,462	△ 636,378
		管理運営費	1,919,411	2,077,191	1,839,124	△ 238,067
		その他	381,889	542,179	731,874	189,695
		計(b)	11,588,831	13,255,210	12,570,460	△ 684,750
収支差引額(a)-(b)		△ 15,342	827,287	2,891,288	2,064,001	

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	・指定管理料に処遇改善の加算、また、登録利用者の増加と、利用人数の増加(前年度より年間212人増)が、収入増につながった。 ・支出については、常勤職員の減少により、人件費が軽減された。
----------------------------------	---

### 3 評価 (様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
9月に新型コロナウイルスの感染者が利用者に出たことにより、1日臨時休所としたが、それ以外については、事業計画書に沿った管理業務を行った。 新型コロナウイルス感染予防対策を徹底して行い、職員の定期的なPCR検査の実施など、感染拡大予防に十分留意することで、事業所内で感染が拡大することはなかった。 日常の支援においては、利用者一人一人のスキルや課題に合わせ、生活力や学習力の向上につながる個別活動の充実を図った。また、コロナ禍で自粛されていた関係者会議等も再開され、関係機関とより密に連携をとり、利用者の情報を共有することで、利用者と家族のニーズの把握に努めた。 避難訓練や定期的な安全点検を実施して、利用者が安心・安全に利用できる事業所の運営に努めた。	施設の設置目的を理解し、管理運営については適正に行われていた。避難訓練や定期的な安全点検の実施など、利用者の安心・安全を確保するための事業所運営を実施したことは評価できる。 また、徹底した感染症対策により、事業への影響を最小限に抑えたことは評価できる。 今後も、関係機関とも連携を密にしながら、利用者や家族のニーズに則した事業を実施するとともに、利用者が安心・安全に利用できる施設運営を実施していただきたい。

(様式4)

## 指定管理業務の項目別評価表

施設名

障害児放課後等支援施設 フレンズ

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。	A	施設の目的や基本方針を十分理解し管理を行った。	A	施設の目的や基本方針を理解し、管理運営に努めた。
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	A	管理運営を通して、障がい児または障がい者へ日中活動の場を提供し、健全育成に資することができた。	A	施設の利用状況、管理状況から、施設の設置目的は達成されている。
	③利用者数	利用者数は当初の目標を達成したか。	A	登録人数も増え、一人当たりの利用回数も増加した。	A	登録者及び一人当たりの利用回数は増加しており、目標は達成されている。
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	新型コロナウイルス感染症に利用者が感染したことにより、一日臨時休業とした以外は、適正に運営した。	A	事業計画書に計画された運営が行われ、適正な施設運営が実施された。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	作業責任者・業務担当者を設定し、適正な配置・勤務が取れた。	A	職員の配置状況、勤務実績は適正であった。
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	漏れなく業務報告し、また、市の担当者と適宜打ち合わせを行い、連絡調整を密に行った。	A	運営業務全般において、伊勢市と協議しながら業務を遂行された。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	点検記録、修繕記録等、各種整備・保管が適正に行われた。	A	各種の記録については、適正に整備保管されており、月報・年報にて報告がされている。
	⑧地域の振興	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	B	新型コロナウイルス感染症予防に十分留意して、保護者参加型行事を行ったが、地域の振興までには至らなかった。	B	新型コロナウイルス感染症の予防に留意しながら行事を実施している。
	⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。		-		-
	⑩利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	各種の帳簿は適正に作成を行った。	A	帳簿は漏れなく適正に作成されていた。
	⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	個人情報の取扱いについては十分注意し、適切に行った。	A	個人情報漏洩などの問題も発生しておらず、個人情報は適切に取扱いされていた。
	⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。	A	各種法令を理解し、遵守した。	A	法令違反は見受けられない。

## 指定管理業務の項目別評価表

施設名

障害児放課後等支援施設 フレンズ

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	ホームページで事業所の紹介をするとともに、相談事業所へのパンフレット配布により、事業所の周知を図り、新規利用者の獲得につなげた。	A	利用者数は増加しており、目標は達成されている。
	②利用者の平等な利用	A	ミーティングや情報共有ノートの活用により、全職員が支援における留意点を的確に把握するよう努めた。また、研修を実施し、職員のレベルアップを図った。	A	期待されるサービス水準を達成していた。
	③適切な情報提供	A	全ての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行なった。	A	適正な利用情報の提供が実施されていた。
	④非常時・緊急時の対応	A	緊急時のマニュアルが整備され、従業員訓練の実施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。	A	緊急時マニュアルの整備、利用者も含めた避難訓練の実施など、適切に実施されていた。
	⑤苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	利用者からの意見、苦情等を受け、迅速かつ適切に対応できる体制が整っていた。
	⑥自主事業	A	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	利用者それぞれにあわせた支援を行うために、様々なプログラムの提示・提供を行った。
	⑦事業の評価	A	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	月次、年次業務報告書を適切に作成、それらを元に次年度への課題を掲げ、次年度の事業へつなげた。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	定期的に施設の安全点検を行い記録にまとめており、事故に繋がらないよう、危険箇所の排除に努めた。	A	安全点検等を適切に行い、適宜報告されていた。
	②備品等の管理	A	備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。	A	破損や紛失がなく、適正管理が認められる。
	③修繕業務	A	点検によって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	異常があった場合は、速やかに伊勢市に報告を行った。またそれらを記録した。
	④清掃業務	A	清掃は適切に行なわれていたか。	A	日々の清掃、週末の清掃、大掃除など事前に立てた予定どおり清掃を行った。
	⑤防犯体制	A	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	退勤時には当番を決めて戸締りを行い、防犯に関する問題はなかった。